

最近の自動車安全基準の動向*

—国際基準調和と自動運転—

Recent Trends of Vehicle Safety Regulation: International Harmonization of Regulation and Automated Driving

猶野 喬¹⁾
Takashi Naono

While the number of traffic fatalities in Japan has continued to decline, making it one of the safest countries in the world, the trend has leveled off in recent years. This report summarizes the automotive safety measures being implemented by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT) with the goal of achieving a society free of traffic accidents. This report also provides an overview of international discussions regarding safety technical regulations for automated driving systems, which are currently under development worldwide.

KEY WORDS

Regulation/Engineering Ethics, Standard/Regulation
Automated Driving System, Regulation, WP.29 [F2](#)

1 はじめに

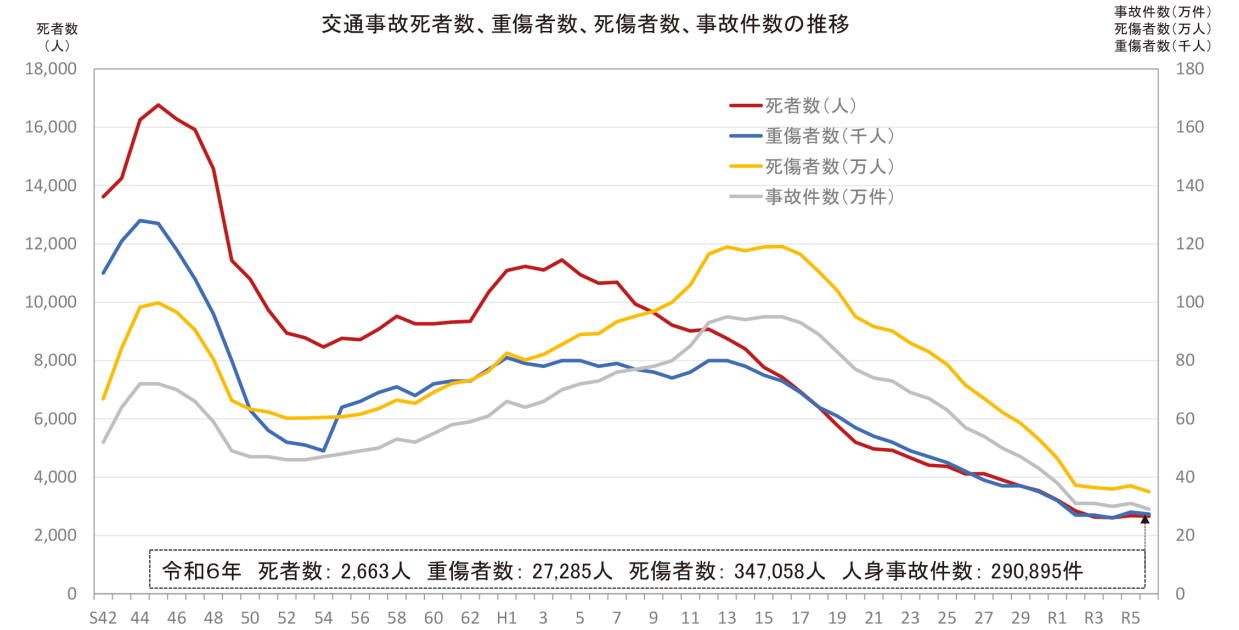
わが国の年間の交通事故死者数は、1970年（昭和45年）の16,765人をピークとして着実に減少を続け、最新の2025年（令和7年）では2,547人と、ピーク時の約6分の1まで減少し、世界でももっとも安全な国の一つとなっている。これは、自動車ユーザ、研究者、メーカー、警察、医療従事者の皆様など関係するすべての方々の日々の努力の結果であり、心より敬意を表したい。

ただ、直近の事故統計を見るとその減少傾向が弱まっている。本年3月に中央交通安全対策会議により取りまとめられた「第12次交通安全基本計画」においては、交通事故のない社会を目指し、人優先の交通安全思想に基づくさらなる事故削減に向けた対策や目標が示されており、交通安全へのさらなる取り組みが重要である。

国土交通省では、交通安全基本計画と併せて、「人」「道」「車」の対策のうち、「車」の安全対策を進める観点から、車両安全対策として取り組むべき事項を議論し、5年ごとに報告書を取りまとめている。本稿では、これまで進めている車両安

全対策の動向や今後の展望を紹介してまいりたい。

2 わが国の交通事故の傾向と特徴



資料:警察庁資料より物流・自動車局作成

図1 交通事故死者数、重傷者数、死傷者数、事故件数の推移

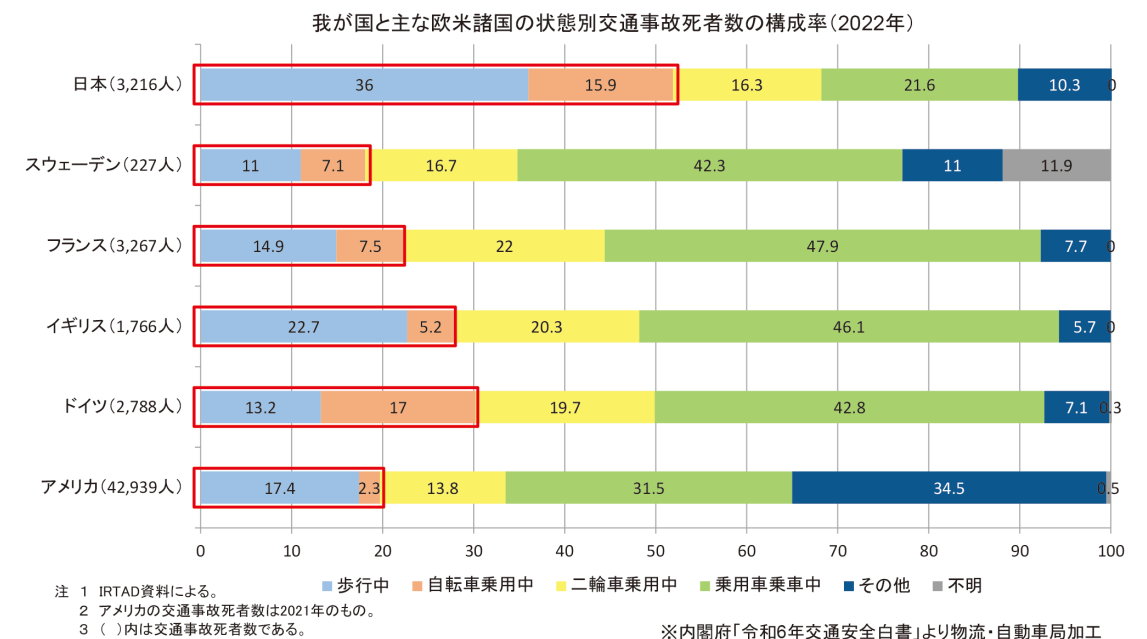


図2 わが国と主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率(2022年)